

講演要旨

『海図の過去・現在・将来について』

海図は、船舶が安全に航海するために使用する地図の一種です。国際条約によって、各国政府により整備・刊行することが求められ、船舶は各国が刊行した公式海図を搭載して航海する義務があります。

我が国は、明治5年から、日本周辺の海底地形を測量してその成果を海図として船舶に提供してきました。平成7年には世界に先駆けて電子海図を刊行し、現在多くの船舶で使用されています。

近年では、利便性をさらに向上させるため、海図の国際基準を策定する国際水路機関(IHO)において、電子海図の新たな規格が検討されています。

本講演では、多くの方にとっては馴染みが薄いと思われる海図についてご説明した後で、IHO で検討されている次世代電子海図についてご紹介いただきます。